

TTC標準
Standard

JF-IETF-RFC3388

SDP におけるメディア行のグループ化

(Grouping of Media Lines in the
Session Description Protocol (SDP))

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC3388に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1.0版	2009年5月27日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC1889, RFC2119, RFC2326, RFC2327, RFC2833, RFC3261, RFC3264

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、2つのセッション記述プロトコル (SDP) 属性、"group"と"mid"を定義する。これらは2つの相違ある目的のために複数の"m"行をグループ化すること可能にする。そのひとつはリップシンクであり、もうひとつは、種々のポートやホストインタフェースに向けて特定のセッションの間に、様々な形式で符号化された単一フロー (多重化された複数のメディアストリーム)からのメディアの受信である。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC3388 : 「Grouping of Media Lines in the Session Description Protocol (SDP)」